



平成26年度 北海道・東北 体育・保健体育ネットワーク研究会

宮城牛タンラウンド報告

平成26年6月30日 仙台市太白区市民センター



1

ディスカッション「評価 そぼくな疑問」

オブザーバー 鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系 教授 佐藤 豊



評価について、普段抱えているそぼくな疑問を出し合いました。「技能の評価を単元の何処に位置付けるか」「総括はどのように行い評定を付けるか」「思考力・判断力はどのように見取るか」「小学校体育科においてC評定は付けるべきか」などの疑問が挙がり、時間の許す限り、鹿屋体育大学教授佐藤豊先生にお答えいただきました。

2

研究発表・実践発表

登米市立登米小学校 教諭 伊藤 敬

南三陸町立静側小学校 教諭 三浦 洋司 須藤 雄一



登米町立登米小学校、伊藤敬先生に、「第2学年『体を移動する運動遊び』におけるわくわくランニングを通して、走る運動を楽しむ児童の育成を目指した体育科指導の一試み」について発表していただきました。

競走以外の走る楽しみを味わわせるために伊藤先生が考案した「わくわくランニング」に、生き生きと取り組む子供たちの姿が印象に残る発表でした。



南三陸町立志津川小学校、三浦洋司先生に、「できる喜びを味わわせながら、技能を高める授業を目指した、第4学年体育科における学び合いの工夫」について発表いただきました。

震災以降、戸倉小学校と体育館・校庭を共有する環境下で、ICT機器を用いながら互いの技能を高め合うために、学び合う子供たちの姿が印象に残る発表でした。



須藤雄一郎先生（南三陸町立志津川小学校）に「体力向上へ向けた石巻市立石巻小学校での7年間の取組」について発表いただきました。

教職員が、共通理解、共通行動をもって子供たちの体力向上に取り組む様子が印象に残る発表でした。現在は、南三陸町立志津川小学校に転任され、体育部の先生方とともに体力向上へ向けた取組を始められています。

3

振り返り

佐藤豊先生には、評価についての質疑応答をはじめ、3人の先生方の発表についての助言、体育科・保健体育科が直面している課題や私たち教員が目指すべき児童・生徒の姿についても話していただきました。お陰様で秋田県2人、岩手県3人、宮城県17人の参加者全員が有意義な時間を過ごすことができました。

情報交換会では、宮城県総合教育センターにおいて体育科の長期研修をされている先生方が、佐藤豊先生を囲んで、昼にできなかった質問をしたり、各学校や地域の取組について校種を超えて話し合ったりする姿が見られました。また、大学時代の友人に再会し、久しぶりに酒を酌み交わしたり、大学の先輩後輩であることが分かり、思い出話に花を咲かせたりと友情の輪も広がりました。